

様式第4号（第4条関係）

出張報告書	幹事長印	経理責任者印
令和2年8月31日		
幹事長 重光 俊則 殿		
出張者氏名 重光 俊則		
下記のとおり報告します。		
1. 出張先 無し		
2. 出張日時 無し		
3. 出張用務（宿泊を要する場合はその事由） 地方議会研究会「地方創生 SDGs 特別講座」資料と CD で受講		
4. 旅費等		
[1] 研修費 60,000 円		
[2] 払込手数料 770 円		
<u>総計 60,770 円</u>		
5. 報告		
・地方議会研究会「地方創生 SDGs 特別講座」 ・講師：山中俊之 [(株)グローバルダイナミクス代表取締役、大阪市特別顧問]		
<講義内容の詳細は別紙>		



地方創生 SDGs 特別講座

in 大阪

in 博多

8/4 火

10/14 水

in 大阪

in 博多

8/5 水

10/15 木

— 10:00 ~ 12:30 —

SDGsの基礎解説

- ・SDGsとは何か
- ・SDGsの目標と細目、ターゲット
- ・自治体政策とどんな関係があるか
- ・地方創生とSDGsの考え方

— 14:00 ~ 16:30 —

SDGs カードゲーム体験

- ・2030SDGsのシミュレーションゲームを体験
- ・SDGsの本質を理解するゲーム
- ・ゲームからあるべき未来を考える
- ・1日を通じての振り返り
- ～地方議員と地方議会の関わり～

SDGsアクションで 新型コロナウイルスを 乗り越える

- ・各自治体の取り組み事例
- ・SDGs未来都市をはじめとする先進自治体の事例
- ・各目標別の事例を考える
- ・新型コロナ対策もSDGsに含まれる
- ・今日から取り組むべきアクションとは

— 14:00 ~ 16:30 —

持続可能な 自治体運営のポイント

- ・自治体政策になぜSDGsが必要か
- ・SDGsに強い人材の育成方法
- ・意外と知らない公務員組織の課題
- ・自治体財政の根幹、人件費に切り込む
- ・議会から変えることができる質問事例

師紹介

山中俊之 やまなか としゆき式会社グローバルダイナミクス代表取締役、
「2030SDGs」認定ファシリテーター、国際教養コーチ

1968年兵庫県生まれ。東京大学法学部卒、ケンブリッジ大学修士(経済発展論)、大阪大学国際公共政策博士、BBT大学院MBA。外務省にて対中東外交、地球環境問題等を担当、世界90カ国を現場視察。その後日本総研に転じ、人事・人材開発コンサルタントとなる。200以上の自治体・企業・団体のコンサルティングや研修に従事。累計3000人のインタビュー、累計3万人に対して人事マネジメントやリーダーシップ研修実施。各自治体にて公務員人事制度の問題点に取り組む。2010年4月に独立、株式会社グローバルダイナミクス設立。著書「公務員人事の研究」など

一シャルディスタンス対応につき 定員25名様、先着順にて開催いたします。

地方議員研究会研修地方創生 SDGs 特別講座

概要：

1. 理解すべき SDGs の 5 つの特徴
2. 持続可能な開発目標（SDGs）実施指針の概要
3. SDGs の 17 ゴール（社会問題、経済系、環境・基盤系）
4. 自治体における SDGs の意義
5. 北九州市の取り組み
6. 環境問題—徳島県上勝町
7. 自治体職員の昇格における選抜
8. 給与表の重なりの問題
9. 住友リ偉業の中期経営計画への落し込み

理解すべきSDGsの5つの特徴

普遍性 先進国を含め、全ての国が行動

包摂性 人間の安全保障の理念を反映し
「誰一人取り残さない」

参画型 全てのステークホルダーが役割を

統合性 社会・経済・環境に統合的に取り組む

透明性 定期的にフォローアップ

地球上のすべての人に対する配慮が求められる

毎年国連総会時期にレビューされる

(出典) 経済産業省資料

持続可能な開発目標(SDGs)実施指針の概要

- ビジョン:「持続可能で強靭、そして誰一人取り残さない、経済、社会、環境の統合的向上が実現された未来への先駆者を目指す。」
- 実施原則:①普遍性、②包摂性、③参画型、④統合性、⑤透明性と説明責任
- フォローアップ:2019年までを目処に最初のフォローアップを実施。

【8つの優先課題と具体的な施策】

①あらゆる人々の活躍の推進

- 一億総活躍社会の実現 ■女性活躍の推進 ■子供の貧困対策 ■障害者の自立と社会参加支援 ■教育の充実

②健康・長寿の達成

- 薬剤耐性対策 ■途上国の感染症対策や保健システム強化、公衆衛生危機への対応 ■アジアの高齢化への対応

③成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション

- 有望市場の創出 ■農山漁村の振興 ■生産性向上 ■科学技術イノベーション ■持続可能な都市

④持続可能で強靭な国土と質の高いインフラの整備

- 国土強靭化の推進・防災 ■水資源開発・水循環の取組 ■質の高いインフラ投資の推進

⑤省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会

- 省・再生可能エネルギーの導入・国際展開の推進 ■気候変動対策 ■循環型社会の構築

⑥生物多様性、森林、海洋等の環境の保全

- 環境汚染への対応 ■生物多様性の保全 ■持続可能な森林・海洋・陸上資源

⑦平和と安全・安心社会の実現

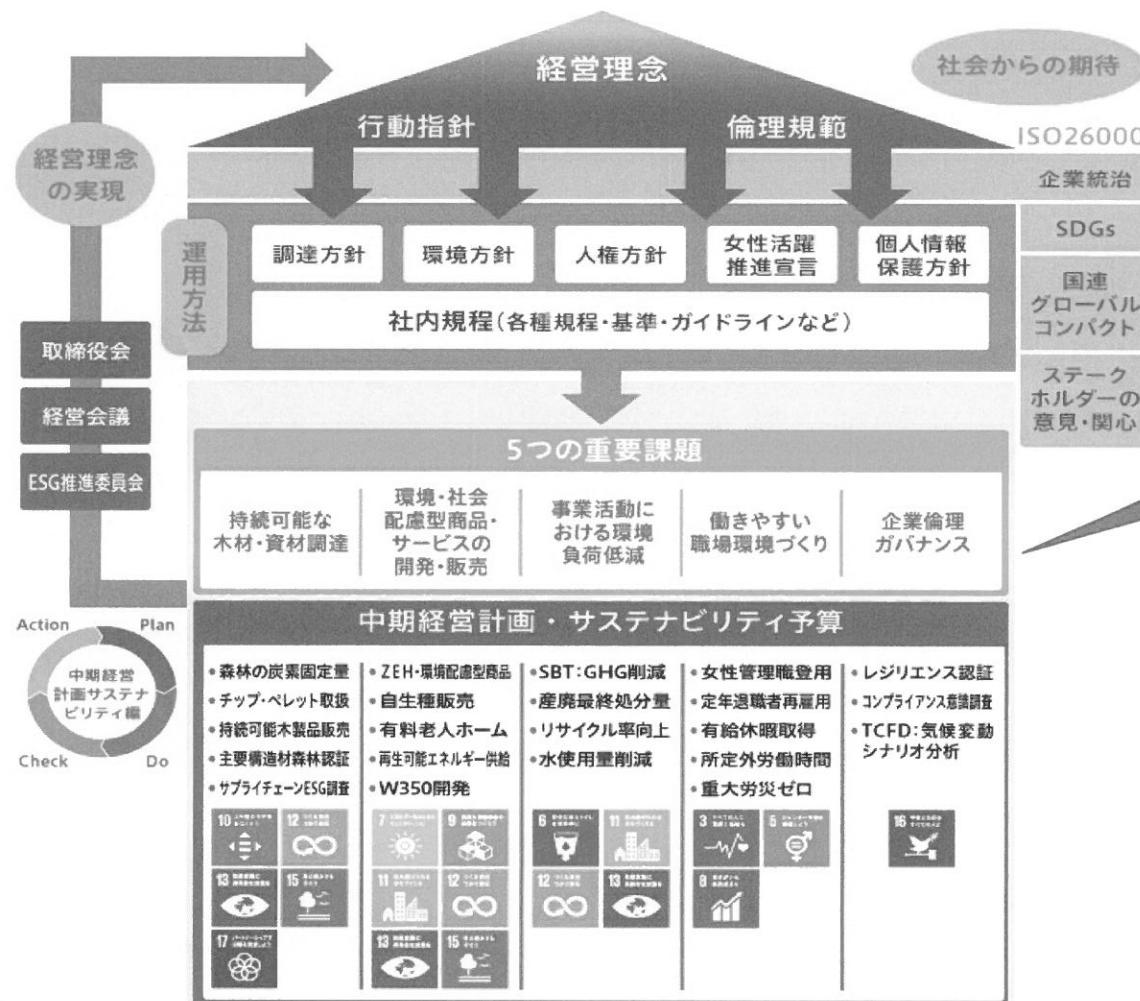
- 組織犯罪・人身取引・児童虐待等の対策推進 ■平和構築・復興支援 ■法の支配の促進

⑧SDGs実施推進の体制と手段

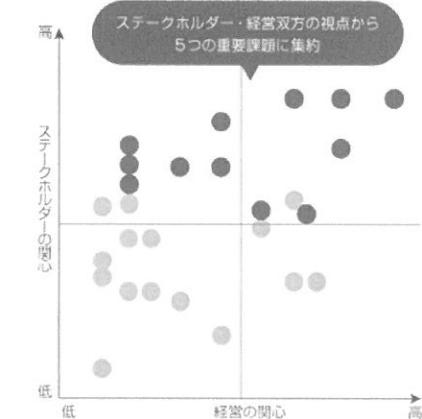
- マルチステークホルダーパートナーシップ ■国際協力におけるSDGsの主流化 ■途上国のSDGs実施体制支援

(出典) 内閣府資料

参考：住友林業の中期経営計画への落とし込み



経営とステークホルダーの関心でプロットして、5つの重要な課題を決定



SDGsの17ゴール:社会問題

SDGsの目標に配慮した
政策立案をしているか★

1 貧困を
なくそう



1. 貧困をなくそう
あらゆる場所で、あらゆる形態
の貧困に終止符を打つ

2 飢餓を
ゼロに



2. 飢餓をゼロに
飢餓に終止符を打ち、食料の
安定確保と栄養状態の改善を
達成するとともに、持続可能な
農業を推進する

3 すべての人に
健康と福祉を



**3. すべての人に健康と
福祉を**
あらゆる年齢のすべての人の健
康的な生活を確保し、福祉を推
進する

4 質の高い教育を
みんなに



**4. 質の高い教育をみん
なに**

すべての人に包摂的（※）かつ
公平で質の高い教育を提供し、
生涯学習の機会を促進する

5 ジェンダー平等を
実現しよう



**5. ジェンダー平等を実現
しよう**

ジェンダーの平等を達成し、すべ
ての女性と女児のエンパワーメン
トを図る

6 安全な水とトイレ
を世界中に



**6. 安全な水とトイレを世
界中に**

すべての人に水と衛生へのアクセ
スと持続可能な管理を確保する

SDGsの17ゴール：経済系

7

エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに

すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

8

働きがいも
経済成長も



8. 働きがいも経済成長も

すべての人ための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する

9

産業と技術革新の
基盤をつくろう

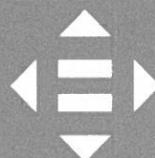


9. 産業と技術革新の基 盤をつくろう

強靭なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

10

人や国の不平等
をなくそう



10. 人や国の不平等をなく そう

国内および国家間の格差を是正する

11

住み続けられる
まちづくりを



11. 住み続けられるまちづく りを

都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする

12

つくる責任
つかう責任



12. つくる責任 つかう責任

持続可能な消費と生産のパターンを確保する

SDGsの17ゴール:環境・基盤系

13 気候変動に具体的な対策を



13. 気候変動に具体的な対策を

気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

14 海の豊かさを守ろう



14. 海の豊かさを守ろう

海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する

15 陸の豊かさも守ろう



15. 陸の豊かさも守ろう

陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る

24

16 平和と公正をすべての人に



16. 平和と公正をすべての人間に

持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する

17 パートナーシップで目標を達成しよう



17. パートナーシップで目標を達成しよう

持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

自治体におけるSDGsの意義

地方創生の目標

人口減少と地域経済縮小の克服／まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

人々が安心して暮らせるような、持続可能なまちづくりと地域の活性化が実現

相乗効果：政策推進の全体最適化・地域課題解決の加速化

「経済」、「社会」、「環境」の三側面を統合する施策推進

自治体における意義
を認識しているか★

コミュニティ再生

少子高齢化

教育

雇用対策

人材活用

人口減少

環境対策

防災

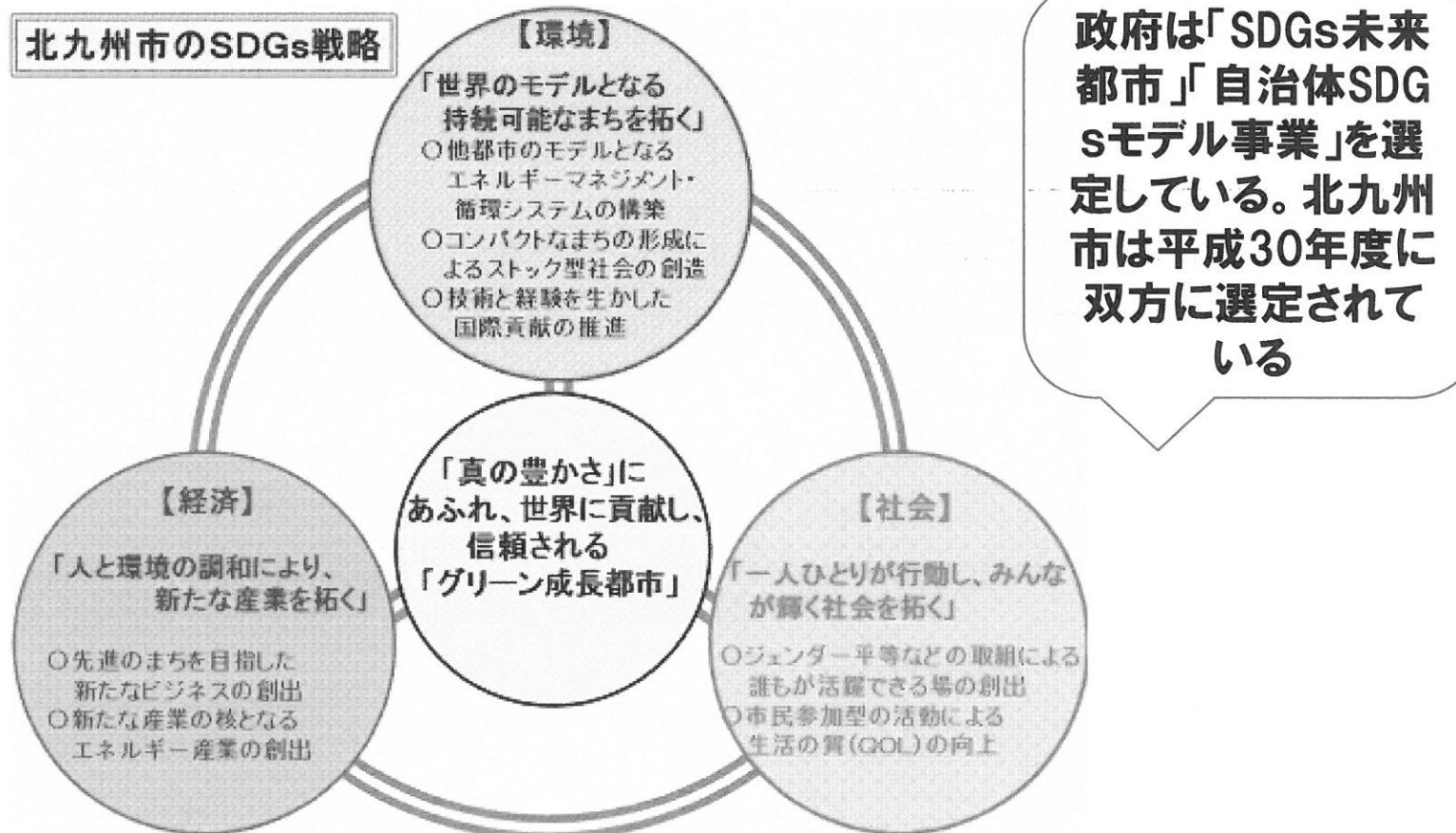
自治体SDGsの推進

- ◆地域課題の見える化
- ◆体制づくり
- ✓自治体内部の執行体制の整備
- ✓ステークホルダーとの更なる連携

- ◆自治体の各種計画の策定・改定
- ✓計画にSDGsの要素を反映し、
進捗を管理するガバナンス手法を確立
- ◆課題に応じた地域間の広域連携

地方創生成功モデルの国内における水平展開・国外への情報発信

参考：北九州市の取り組み



事例：環境問題－徳島県上勝町

徳島市から車で1時間の上勝町は、長年人口減少の過疎の町であったが、「葉っぱビジネス」と「ゼロ・ウェイスト」で街の振興を図る。



ゴミ収集はしない。住民が町に1か所あるセンターに持ち込み45分別。すべてにキロ当たりの費用又は収益が記載。

ゼロ・ウェイストを実施する
予定はないか★

参考：自治体職員の昇格における選抜

係長や課長への昇格については、以下のような厳密な選抜を実施すべきと考えます。

昇格は明確な基準と客観的な証拠に基づく選抜が行われているか★

第1次選抜

- ・係長昇格時
- ・論文審査
- ・人事評価結果
- ・総務部長面接

第2次選抜

- ・課長昇格時
- ・外部アセスメント
- ・人事評価結果
- ・首長面接

外部アセスメントとは、外部専門家が、2-3日程度の研修期間中の候補者の行動（課題への対応、集団討論、面談、インバスケット）などで項目ごとに評価点を付けること。多くの大手企業で採用されている。大阪市では平成25年度から実施。

（出典）山中俊之「自治体職員のための人材開発ハンドブック」

参考：給与表の重なりの問題

- ・給料表の等級（=課長・係長などの職位と連動して給料の幅を決める級数）が異なっても重なりが大きく、何年も昇給する（特に実績・能力に課題のある職員でも4号俸昇給する）。また昇格しても給料があまり変わらない。
- ・民間企業のように等級が違えば、給料も違うといった俸給表にするべきである（注：民間企業でも重なりがあることはあるが公務員ほどではない）。
- ・課長以上の管理職は毎年の昇給をなくした定額制の導入をすべき。

《大阪府の行政職給料表における給料月額の重なり削減》

昇格：等級が上がること

昇給：同一等級内で号俸が上がりことで給料が上がること、人事評価が5段階で3番目のB評価で4号俸昇給する、圧倒的に多数の職員が4号俸以上昇給

大阪府市では給料表の重なりを改善

